

○失明兒教育上の心得

失明兒を有せらるゝ家庭及教育者の爲に東京盲學校が發表せられた左の條々の心得は不幸なる失明兒の教育上最も適切なものと思ひます。同校よりの希望もあり一般に有益なる参考と思ひますから本誌上に全部を載録するこゝに致しました。(編者)

盲兒を有せらるゝ父母は該兒に對し特別の愛情と特別の心配とを加へらる可きものと知らる可し若し適當の教育と訓練とを施されなば盲兒は他日社會に立ちて幸福の人有用の民となり各般の義務を盡すことを得るに至る可し、然るに若し之に反して此教育と訓練を怠られなば盲兒は貧弱無告の者となり本人の不幸は言ふ迄もなく終生他人の厄介物たるに至らん。

(東京 盲學 校)

されば父母及び教師諸氏は宜しく左の事項を深く心に懸けらる可きなり。

一、失明の兒童を取扱ふには明者を取扱ふと同様に成る可く早く四肢と腦髓とを使用せしむ可し又兒童が手を使ひ得るに至らば各種の玩具を與へ、耳と智能とは談話、唱歌、音響のある玩具を以て常に興奮せしむるを要す

二、盲兒も亦有明兒と同じく其年輩に達せば歩行を教ふ可し

三、盲兒は同一の室内に獨居せしめぬやうに注意し、又長き時間に滞在せしむるが如きことある可からず、最初に各室を次ぎに全家屋内を後に庭園其の他屋外を歩行することを獎勵す可し、斯くて身邊の萬象に觸れしめ以て智識を收せ得しむることを努む可し

四、出來得る限り早く盲兒をして自ら衣服を纏ふに慣れしめ洗濯、理髮、爪切り等を教へ、清潔に、秩序的に物品を排列することを悟らしむ可し、又年齢に應じ食事の時は茶碗、箸等を使用せしめ、父母にして之を教ふる勞を厭はずば明者と

同様に爲し得可きなり、盲兒は自ら他人の所爲を觀ること能はざれば特に懇切に教ふるを必要とす

五、兒童の坐作進退に特に注意す可し、盲兒は他の兒童の如く動作を見做ふこと能はざれば、明者の將來に許す可からざる惡習慣は亦盲兒にも之を除かんことを努む可し

例へば頭を振ること、顔を歪むること、眼の内に指を入れること、頭又は肩を屈げて坐し、又は歩行する如きこと之なり、苟も是等の惡癖を認めたる時は溫和に然も斷乎として矯正せざる可からず、一度習ひ性とならんか如何に長く教訓をなすとも效果無きに至らんのみ

六、室の内において成るべく明者と共に遊ばしめ常に郊外へ引率して運動せしめ、又少しづつ體操をなさしむ可し、靜坐を要する場合には必ず或種の玩具を與へ、常に心身を活動せしむる注意肝要なり

七、兒童をして各種の物體に觸れ且つ之を測量せしむ可し、觸れしむること、運動せしむること、測量せしむることに依りて空間并に距離の觀念を與ふ可し

盲人に最も必要の機關たる觸覺の發展には樹木植物、貨幣等の各種の材料を手に觸れしむるを必要とす

八、出來得る限り早く兒童をして家事上の仕事を執らしむ可し、先づ初めには「ボタン」に糸を通すこと、針に糸を通すこと、「豆類の殻を剥ぐこと、次にゴミを拂はしむること、洗ふことより芋の皮を剥くこと、簡易なる割烹、果實を採集すること等を爲さしめて遂には猫、犬、鳥、鶏の飼養并に監督に及ぼし、又一方には編物、裁縫、意匠的手藝を爲さしむ可し、盲兒は教ふる際に煩はしけれども厭はざれば其の修得は實に驚く可きものあり

九、時々且つ長く盲兒を對手に談話す可し、盲兒

は父母の愛情と温情とを面貌の上に見ること能はざれば音聲を以て之を表出する必要ある可しすべて盲兒は其の耳にするもの、感ずるものにつき常に疑問を發するものなれば、是等につきては一々丁寧に解釋し自ら斯る疑問を發する様獎勵す可し

十、盲兒の面前にありては忌まはしき事項につきて談話す可からず、盲兒は明者よりは一層能く談話を記憶するものなればなり

十一、盲兒の面前にありては失明につき同情の意思を表す可からず、他人にも亦之れをなさざるやう勸告す可し、斯くの如き同情は善意より出づるにもせよ、盲兒には憂鬱と悲哀とを増大するのみにして何の効果も無き者なればなり、されば寧ろ盲兒の精神を獎勵し、愉快に充ち満ちたる心を以て日課を爲さしむ可し、斯くてこそ終には外部よりの援助を受けずして生活を営み得るに至る可ければなり

十二、盲兒には記憶を練習する機會を多からしむ可し、其の機會多ければ多き程晩年に於て莫大なる効果の顯はるゝものなり、詩歌、古聖賢の經句、物語等を多く教授して記憶せしむ可し、盲兒は是等を學修して大いなる趣味を感ずるものなり

十三、盲兒には明者と同一様に道德事項を速かに教授し得可きものとす、故に之れに適應せしめて各々實行を爲さしむ可し

十四、盲兒學齡に達したるときは、直に盲學校に入學せしむ可し、斯くて盲兒は各學科につき初めて完全に教授せらる可き機會を得るなり

十五、失明者の眼は疾病常に斷えざるものなれば常に之が治療を怠らず、又多少の視力若しくは光覺を有するものは之を保存せざる可からず

十六、失明者は身體虛弱なるもの多く、且つ結核等の疾病に襲はれ易し、故に常に注意せざる可からず